

就将小新聞

学校概要



【学校名】米子市立就将小学校
 【所在地】米子市愛宕町94番地
 【校長名】三木徹
 【児童数】341人
 【担任名】5年松組 小坂 篤史
 5年竹組 岡本 宗大
 5年藤2組 佐々木 かおる
 5年桜組 小坪 駿子

【教育目標】仲間とともに進んで学ぶ、心豊かたぐましの子の育成
 【校訓】至誠(真心をこめて)・進取(自主性・チャレンジ)・勤労(共に働く)

【沿革】1909(明治42)年 米子町立就将尋常高等小学校創立
 1924(大正13)年 女子技芸学校設立(女子は就将校男子は明道校)
 1927(昭和2)年

再び男女共学となる
 1930(昭和5)年 就将尋常小学校と改称
 1941(昭和16)年 就将国民学校と改称
 1947(昭和22)年 米子市立就将小学校と改称



心を一つに！学習発表会のフィナーレを迎える5年生

学習発表会

福祉の心 伝える

学びを劇に「福祉戦隊・ゴネンジャー」披露



近藤菜月さんが描いた劇のポスター

学習発表会が昨年11月19日、就将小の体育館で開かれ、5年生が福祉劇「福祉戦隊・ゴネンジャー」を披露した。5年生は総合的な学習の時間を通して、1学期は「ユニバーサルデザインを終わって「保護者の拍手がン」について、2学期は「人によさしいまち就将」をつくるために自分にできると誇らしげることについて、福祉をテーマに学びを深めてきた。ゲストティーチャーの先生と一緒にも5年生が体験してきた福祉の学びを劇にして、大切にしたい「福夏海」

声かけ合い協力して

ボッチャ体験

就将小の体育館で昨年10月11日、5年生が「福祉の心」の学びを深めるために、鳥取県ボッチャ協会の方を講師に招いてボッチャ体験をした。ボッチャ体験では、ただそのスポーツを楽しむだけでなく、みんなで声をかけて協力し合うことでより楽しくなるという、ボッチャの面白さを味わった。



ボッチャを楽しむ児童たち (糸原真歩、内田平二、金子花菜、佐々木将吾、角咲人、田村志羽、中野拓真、洞谷雪希、松波龍之介)

高齢者も住みやすいまちに



児童の発表に感動するゲストティーチャーの先生

5年生は昨年9月15日、義方・湊山地域包括支援センターから講師を招き、認知症について学んだ。「もしやと笑顔をやし・笑顔」の紙芝居を通して、認知症の方との生活にどう関わればいいのか、自分には何ができるのかを考え、ポスターにまとめて発表した。とても真剣に学習に取り組んだ5年生には、講師の先生から「キッズサポーター(認定証)がプレゼントされた。

認知症学びキッズサポーターに

5年生は昨年9月15日、義方・湊山地域包括支援センターから講師を招き、認知症について学んだ。「もしやと笑顔をやし・笑顔」の紙芝居を通して、認知症の方との生活にどう関わればいいのか、自分には何ができるのかを考え、ポスターにまとめて発表した。とても真剣に学習に取り組んだ5年生には、講師の先生から「キッズサポーター(認定証)がプレゼントされた。

のある方について理解することが大切だと考えた。ゲストティーチャーの方からは「東日本大震災では耳の不自由な方に放送が聞こえず、逃げ遅れてしまう方もいた」とことや、手話がどうやってできたかや、手話の意味を教えてくださいました。児童は「手話以外にも筆談や身体で表現する方法もあることが分かった」「思っていたよりも難しかったので、耳に障がいのある方もやりとりができるように手話を勉強したい」と話した。

(井上瑞規、木山陽瑞、小林慈、佐々木蘭、田食柚菜、田辺苺、中田遥喜、矢畑琉来)

点字ブロックや音声誘導装置 公共施設でUD発見！ 米子コンベンションセンターを見学

5年生は昨年10月4日、就将校区の公共施設にあるUD(ユニバーサルデザイン)を探すため米子コンベンションセンターを見学に行った。5年生は案内して下さった村上さんの話を大きくうなずきながら聞いていた。コンベンションセンターには、点字ブロックや音声



誘導装置など誰もが利用しやすい工夫がされていた。5年生は、UDを見つけると宝を見つけたように「あった！」と喜び、メモを積極的に取る人が多かった。見学の最後に質問があるか聞かれると、大勢の児童が挙手をし、学びを深めようとしていた。児童は、「赤ちゃんからお年寄りまで、

積極的に質問を取る児童たち



手話で自己紹介 身体で表現する方法や筆談学ぶ

5年生は昨年5月16日、手話支援コーディネーターの方を招いて手話体験を行った。児童は手話に興味を持

工夫次第で誰でも楽しく

車いすバスケット体験

5年生が昨年9月8日、車いすバスケットボールを体験した。誰もが暮らしやすいまちに変えていくために「気づき」「考え」「行動する」を言葉に体験をした。はじめに、鳥取県車いすバスケットボール協会の方々にUD(ユニバーサルデザイン)の考えについて教わり、その後、競技用の車いすドリレをしたり、試合を打つとき、車いすに乗っているから、ジャンプもでき



車いすバスケットボールをプレーする児童たち

5年生が作った新聞です

